



東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子 (文責 竹市 富夫)

第10号

桐生市立東小学校

令和6年2月21日

第2回 学校評価アンケート ～よりよい学校づくりに向けて～

2学期末の第2回アンケートへの御協力、ありがとうございました。保護者の皆さんの「学校評価アンケート」と「児童アンケート」の結果を、3学期及び次年度の取組に反映させていきたいと考えています。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

※肯定的回答：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計
「△」「▽」前回結果と比較して5ポイント以上の差を示しています。

組等	具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取
	①「授業でめあての確認や振り返りをしたり、友達と話し合いながら勉強している」と回答する児童が80%以上である。	86.4	めあてと振り返りを大切に押さえるとともに、自分が考えたことを分かりやすく伝えることを通して、表現する力を高めていきます。
	②「子どもは『授業の内容がよくわかる』と言っている」と回答する保護者が80%以上である。	83.9	(児童の肯定的回答92.0%) 引き続き、児童の意欲を引き出し、基礎的な内容を確実に身に付けられるよう、よりよい授業力を高めていきます。
	③「授業中タブレットを使って学習している」と回答する児童が80%以上である。	92.0	児童はタブレットの操作に慣れてきたので、個別の学習(家庭学習)や発表等においても積極的に活用していきます。
	④「家で進んで勉強や読書をしている」と回答する児童が80%以上である。	77.8	(保護者の肯定的回答72.6%) アウトメディアの取組と合わせ、引き続き、スタディウィークや読書週間等における取組を通してやる気や達成感を培います。
	⑤「子どもはあいさつや規則正しい生活(早寝、早起き、朝ご飯)ができている」と回答する保護者が80%以上である。	85.5	(児童回答83.3%) ご家庭におけるご協力に感謝します。保健指導等を通して健康で規則正しい生活を実践できるようにしていきます。
	⑥「いやなことをされたり言われたりしたとき、先生は相談に乗ってくれる」と回答する児童が80%以上である。	90.1	毎月の生活アンケート等の結果や日々の生活の様子、表情の変化などを踏まえ、SOSにこちらから気付けるよう、注意深く見守っていきます。
	⑦「クラスで友達と仲良くし、楽しく生活している」と回答する児童が80%以上である。	96.3	これからも楽しく学校生活を送れるよう、授業や行事等において友達と関わる機会・交流活動を計画的に設けていきます。
	⑧「子どもはきまりや約束を守って生活している」と回答する保護者が80%以上である。	86.3	全員がきまりや約束を守って生活できるよう、「きまりの意義」や「ルールを守ることによって自分も守られる」ことについて考えていきます。
	⑨「子どもは困ったり悩んだりした時、保健室や相談室、職員室で相談しやすいと言っている」と回答する保護者が80%以上である。	66.1	悩み事や相談内容に応じて、担任、養護教諭、教育相談員、スクールカウンセラー等が対応できる体制をさらに充実させます。
	⑩「夢や目標に向かって勉強や運動に取り組んでいる」と回答する児童が80%以上である。	92.6	(前回92.6%) 日々の学習や行事等において、スモールステップを重ねて粘り強く取り組むことの大切さを伝えていきます。

具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取組等
⑪「親子で子どもの将来の夢や希望について話し合う機会がある」と回答する保護者が80%以上である。	86.3 ↗	(前回79.5%) ⑩の状況を踏まえ、「目標→実践→振り返り」のサイクルを大切にして家庭で話し合っているとありがとうございます。
⑫「授業以外に週3日以上体を動かして遊んだり運動したりしている」と回答する児童が80%以上である。	85.2	(保護者回答65.3%) なわとび練習や外遊びの奨励で、体を動かす楽しさを実感できる児童を増やしていきます。
⑬「手洗いやうがいをしっかり行い、ハンカチやティッシュを身に付けて生活している」と回答する児童が80%以上である。	88.9 ↗	学級における保健指導や委員会からの呼びかけを通して、基本的な感染症予防への意識を高め、規則正しい生活できるようにします。
⑭「地震や火災が起こった時、避難の仕方が分かる」と回答する児童が80%以上である。	96.9	(保護者の肯定的回答76.6%) 学習を継続し防災体験や予告なしの避難訓練を通して、自分の身は自分で守る意識を高めます。
⑮「交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校をしている」と回答する児童が80%以上である。	96.9	ご家庭における声かけや毎朝の旗振り等に感謝します。学級指導や下校時の指導等を通して安全に登下校できるようにします。
⑯「メール配信 (tetoru) や連絡帳、電話連絡等により子どもたちの様子が分かる」と回答する保護者が80%以上である。	86.3 ↘	引き続き、メール配信 (tetoru) や学級通信、担任からの連絡、懇談会等を通して、児童の学校生活の様子を伝えていきます。
⑰「授業参観や学校行事などに参加している」と回答する保護者が80%以上である。	94.4	ご多用のところ来校していただきありがとうございます。より参加していただけるよう、日程内容等について検討していきます。
⑱「悩みごとや困っていることがある場合、学校に相談しやすい」と回答する保護者が80%以上である。	79.8 ↘	心配事や不明な点などについてはお気軽にご連絡ください。担任、管理職、相談員、カウンセラーがご相談に応じます。
⑲「学校は、保護者や地域の方の協力を得て教育活動の効果を高めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	83.9 ↘	(前回89.1%) 地域や保護者の協力をいただき、教科のねらいに達成できるよう引き続きご協力をお願いします。
⑳「桐生が好き」と回答する児童が90%以上である。	88.3	生活科や総合的な学習の時間において、学校周辺の建物や歴史、特産物などを取り上げ、地域への愛着が深まるようにします。
㉑「学校はICTに関する環境整備に努めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	81.5 ↘	2年前から1人1台タブレットが整備されました。引き続き、各学年、授業等において活用を推進していきます。
㉒「施設の管理や安全対策は十分であると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	79.8	定期的に教職員や業者による施設の点検を行い、必要に応じて修繕しています。また、防犯のためにカメラを設置しています。

◎自由記述について

様々な視点からご意見等をいただき、ありがとうございます。記載されたご意見・ご質問等に対して、学校としての対応や考え方を示させていただきます。なお、紙面の都合上、ご意見等の要旨をまとめさせていただきます。

----- <教育相談等について> -----

- ・子どもが、授業中騒がしく内容が聞き取れないことが多いとっており『相談する?』と聞くと、もしかしたら自分も騒がしくしてるかもしれないから言いにくいとっています。
- ・担任との信頼関係ができない。

ご指摘の内容を、しっかり受け止めたいと思います。子どもたちの頑張りや活躍を願う保護者の皆様の思いを大切にしていきます。毎月の生活アンケートや日常的な見取りにより、児童の様子を注意深くとらえようと努めています。学習・生活・友人関係等で心配なことがあれば、担任や養護教諭や教育相談員が対応する体制を整備していますが、実際にはすべてをカバーできていないと反省します。これからも教職員全員で東小の児童一人一人の様子をしっかり観察し、複数の目で子どもたちの頑張りや悩みに寄り添っていきたいと思います。今後も集団の場面で必要な指導や支援を行う「ガイダンス」や一人一人が抱える課題に対して個別に対応する「カウンセリング」の双方で、低・中・高学年の学年の時期の特長を生かした指導の工夫を行っていきます。

----- <欠席対応について> -----

- ・昨年度までは、数日欠席した場合、学校から提出物や持ち物等の連絡をいただけておりましたが、今年度は特にそういった連絡もなく周りの保護者や友人に教えてもらったりしています。こちらから学校に確認の連絡をさせていただくべきでしょうか。先生によってやり方も変わるのかもしれませんが、こちらとしては学校は同じですので、統一していただけた方が助かります。

貴重なご意見ありがとうございます。今年度より、欠席連絡についてはtetoruで報告していただく形でお世話になっています。そのため、直接保護者の方と連絡を取り合う機会が減っていることも事実です。今後、数日欠席した場合の家庭への連絡は、電話などで様子をお伺いいたします。また、心配なこと等がありましたら学校に遠慮なくお尋ねください。今後も、欠席の連絡については、tetoruでの入力送信をお願いします。なお、欠席する日に入力をお願いします。(例：日曜日の日付で、月曜日の欠席のことを入力しても、月曜日の欠席に反映しないため。欠席する日付を選択し、入力していただくと助かります。

----- <学校のICT化等について> -----

- ・インフルエンザ等で休みが続く場合、オンライン授業の参加可否や、タブレットの借り方などがよくわかりません。
- ・ICTの意味がわからないのですが、なんとなく電子機器のことかなと思いながら返答します。電子機器の活用よりも、直接の人との関わりや、紙媒体や、本物を見ることの大切さを重視してほしい。

昨年度より、タブレット端末の活用も進み、授業内でも学習の道具として有効に利用しています。話し合いの意見交流などでは有効な手段となったり、総合的な学習では、調べ学習の手段となったり、写真を取り入れた表を作成したりして、表現力も向上しています。また、家庭学習などでも、持ち帰った際には、学習アプリで国語や算数の復習に活用しています。

今年度、学級閉鎖があった学年・学級では、登校していた児童にはタブレットの持ち帰りをし、翌日家庭とつないでオンライン朝の会を実施しました。2年生以上の学級では、持ち帰る前に児童にはやり方を説明して、翌日の朝にタブレットを起動させ朝の会で健康観察を行うことができました。欠席していた児童には、まずは体調の回復を一番に考えました。今後、タブレットの持ち帰りについても、校内で検討して対応を考えます。

また、タブレット活用により、直接体験が減ってしまうというデメリットも指摘されています。人との会話や直接体験（触れ合う・実感を伴う体験）などは貴重な経験なので、ICT機器の有効な活用について、引き続き校内でも研修を進め、子どもたちの成長に有効な活用法について実践していきます。

2 / 14 (水) 授業参観・懇談会では大変お世話になりました。また、広報委員会・教養委員会の方々にも残ってご協議いただきありがとうございました。21 (水) には、地区委員会も開催します。日頃より、本校の教育活動を支えていただき感謝いたします。年度末を迎えますが、今年度の役員の皆様、ありがとうございました。来年度の役員を引き受けていただいた皆様、これからどうぞよろしくお願い致します。